

ゲームで認知症予防

達成感や生きがいづくりに効果

蓮崎市社会福祉協議会は、高齢者の認知機能の予防や維持に効果が期待されている対戦ゲーム「eスポーツ」の競技をして開いた。(写真)



このeスポーツは、エレクトロニック・スポーツの略で、ゲーム機のコンソーラーを使って指先の運動や注意力、判断力など、競技を楽しみながら認知機能を予防することが期待されることがあります。健康増進の一環として導入

する自治体も増えている。

当日は、60歳以上の男女8人が参加し、4人1組でボウリングゲームを体験。リモコン型のコンソーラーを持ってボウリングのボールを投げる

度もできないが、ゲームがるボールが映し出され、ストライクが出ると「やったね」や「うまい」と笑顔で話した。

中田町から参加した高添真一さん(84)は、「操作が難しかったが慣れる」と楽しかった。本来のボーリングは球が重くて何

う。これからもeスポ

ーツを使ったイベントを開いていく」と話している。

また、1月27日には老人福祉センターで市内在住の60歳以上を対象にした「ボウリングゲーム大会」を開く予定。参加無料(入館料あり)で午前10時開会。問い合わせは☎22・6944まで。

蓮崎駅の担当者は、「市民がうまくできた達成感やみんなと一緒に楽しむことで生きがいづくりのきっかけにもなると思

い。また、市外の方たちは駅からハイキングをきっかけに蓮崎市を知り、市内再訪してく

り過ぎてしまう場所もあ

る場合あり。

蓮崎駅の担当者は、「市

民の方は、普段、車で通

り過ぎてしまう場所もあ

る」と思うので、歩いて蓮崎市の歴史や風景を楽し

み、新たな発見をしてほ

しい。また、市外の方た

ちは駅からハイキン

グをきっかけに蓮崎市を

知り、市内再訪してく

れたらうれしい」と参加

を呼び掛けている。

1月3日と19日、2月

16日は、ニコリ休館日

ためイベントは中止。問

い合わせは☎22・199

1まで。

16日は、ニコリ休館日

ためイベントは中止。問

荃崎市12月定例市議会閉会

物価高騰対策で「商品券」

荃崎市12月定例市議会は、一般会計に10億222万円を追加補正し、一般会計の総額を192億5154万円とする補正予算や条例改正など、27議案を可決し、12月22日に閉会した。

また、議会の最終日の22日には、市民1人につき5000円相当の商品券を配布する「食料品等

また、議会の最終日の22日には、市民1人につき5000円相当の商品券を配布する「食料品等

物価高騰対策支援事業の定数や報酬などを検討する「荃崎市議会議員定数等調査特別委員会」の設置の追加議案が提出され、採択された。

「食料品等物価高騰対策支援事業費」は、物価

物価高騰の影響を受けている市民を支援する国「物

価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用するもので、市民1人に5000円相当の商品券を配付するとい

うもの。商品券は2月下旬に各世

帯に配布するとしている。

意見交換では、市民か

ら「ゆふるにらさき

となどを話し、「廃止の

方針という結論に至つた」と述べた。

意見交換では、市民か

